

第 13 号

平成 25 年 9 月 30 日

富山県砺波農林振興センター
農業農村整備広報・広聴連絡会議
〒939-1386 砺波市幸町1番7号
電話(0763)32-8124【指導課】

となみ野水工通信

(1面)

- ・台風 18 号の爪痕
- ・新規地区紹介
ため池等整備事業 安居地区
- ・土地改良区紹介 福野町土地改良区

(2面)

- ・災害派遣
- ・田んぼの生き物調べ
南砺市高瀬地内
- ・新規採用職員ごあいさつ
- ・イベント開催案内

台風 18 号の爪痕

九月十五日〜十六日に日本列島を通過した台風 18 号は、当センター管内にも多くの爪痕を残していきました。特に南砺市の井波から城端にかけての山際にて、



局地的ですが一日半で二百ミリの大雨が降り、その山際を中心に大小百箇所近い農地被害をもたらしました。

被災された関係者の方には、あらためてお見舞い申し上げます。市と県では、一日も早く復旧できるように現地調査と対応策の検討を全力で行なっております。関係者の皆様には、この状況をご理解いただくとともに、もうしばらくご辛抱願います。
(指導課 記)

新規地区紹介

ため池等整備事業

「安居地区」

二〇一一年三月の東日本大震災の記憶がまだ生々しいと思いますが、この地震で決壊したため池の多かったことも覚えておられることでしょう。

全国にはかんがい用のため池がたくさんあり、人々が生活する空間の上部に位置することが多いため、一端決壊すると下流域には甚大な被害を与えることとなります。今回の地震を貴重な経験として、地域の財産であるため池の点検や改修が国レベルで行われることになりました。南砺市安居にあるため池(古池)も、築造が江戸時代(不詳)という歴史あるものですが、漏水が多く危険な状態であることから今回改修を行うこととなりました。

平成二十五年度は詳細な調査と設計を行い、平成二十六年と二十七年にかけて改修工事を行う計画です。予算は一億五千万円ですが、先の震災を踏まえ、規模の大きいため池について、地元負担に配慮されています。

当地区は、古くから屋根瓦を製造する事業者の多いところで、今も製造する事業者はありますが、瓦の原材料である粘性土が少ないため、廃

土地改良区紹介

福野町土地改良区

福野町土地改良区は昭和二十七年三月二十一日に認可となり、同年四月二十五日の総代選挙を経て五月四日に実質的なスタートを切っております。

このころの福野町土地改良区は、



◆改修予定の安居古堤ため池

業した事業者も多くあります。

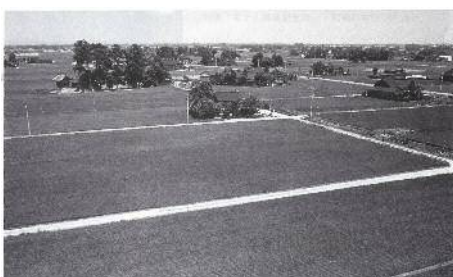
ため池の堤防盛土に適した土もこうした粘性土なので、条件に合った土を探すことから始めなければなりません。場合によってはセメントを混入して改良する等の方法をとることになります。

工事は二カ年にわたりますので、その間のかんがい用水は改修する古池の上流にある大池によることになりませんが、水量の不足することが予想されますので、受益となる地域には麦等の転作で対応していただくこととしています。

皆さんもこうした事業を機会に水路の上流に目を向け、ため池や、降った雨を貯留しゆっくりと流しだしてくる森林に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。
(農地整備第二班 記)



◆圃場整備前の田園風景 (昭和 30 年頃)



◆圃場整備後の田園風景 (昭和 54 年頃)

今日の「野尻選挙区」と「南野尻選挙区」及び「広塚選挙区」の関係集落を管轄し、現在の所管区域の三分の二程の「二〇七〇ヘクタール」で設立致しましたが、その後、ほ場整備事業の進捗に合わせて「東石黒選挙区」、「高瀬選挙区」及び「安居選挙区」の土地改良区を合併して今日に至っております。

しかしながら昭和三十六年に施行された「農業基本法」は、日本の農業政策の目標と基本方向を規定し、それまでの農業諸法令の制定・改廃の指針としての性格を有する宣言立法的法律であったため、面土地改良区は線土地改良区の従属的組織から、新たな目標をもった組織に脱皮することになったのです。

特に本法では、経済の発展、農産物の消費構造の変化、労働力の移動に対処し、生産性と従事者の所得について農業と他産業との格差を是正するため、農業生産、農産物の価格、流通、農業構造の改善についてまでも定め、そのための手法として「農業生産基盤」の強化を謳ったのです。

具体的には、昭和三十七年度に「農場整備モデル調査事業(野尻地区)」が事業採択を受けて大区画圃場整備と大型機械の導入を可能とする土地改良事業がスタートし、面土地改良である福野町土地改良区は、新たな目標を携えて農業史の表舞台に登場したのです。

終わりになりましたが、今日の様な情報が溢れている時代と異なり、制定されたばかりの農業基本法の存在を知るや、この法律の真の目的を読み取った先人組合員の先見性とその偉大さに、ただただ感謝している次第であります。



誰もが住んでみたい村に 農業農村整備

(福野町 土地改良区 記)

災害派遣

皆さんお久しぶりです。四月から九月までの任期にて宮城県に赴いています。仙台地方振興事務所 農業農村整備部 農地整備第二班第三チームに配属され、宮城県最南部に位置する亶理郡山元町の津波被災農地の復元と除塩を担当しています。

一件あたりの工事範囲がとても広い(私の担当は一件で約六十ヘクタール程度を三件)、辺り一面が荒野となっており目印も少ないので、現場の把握が大変です。また、私の現場が最南端の工区であり、現場まで高速道路を使用して一時間以上かかるので、現場へ行くと一日があつという間に終わってしまいます。業務としては、工事の監督と査定の変更が主な内容です。最初はとまどいでしたが、宮城県



◆水没していたため、これから復旧が始まる農地



◆復旧途中の排水機場



◆岩手県の「さんさ祭」

の職員の方や各県からの派遣の方々も気さくな人が多いので、大変過ごしやすい環境となっています。また、気候も大変涼しく、お盆前までは毛布を着て寝ていたぐらいでした。逆に冬は心配です。

休日には、ちよくちよく他県の派遣仲間たちと旅行に出かけています。福島県で開催された六魂祭や青森県の恐山、大間市、十和田湖の観光、青森県のねぶた祭や岩手県のさんさ祭などに行ってきましたが、規模が大きく驚くことばかりです。

残りの任期もわずかとなりましたが、復旧・復興にはまだまだ多くの時間がかかります。限られた時間で少しでも貢献できるように公私ともに頑張りたいと思います。

(嘉藤 孝志 記)

田んぼの生き物調べ 南砺市高瀬地区

「田んぼの生き物調べ」は今年度から年一回の実施となりましたが、六月二十三日(日)に南砺市旧井波町の高瀬公園横を流れる「勸行寺川」で行いました。当日は、日頃から南砺市を中心に活動している「親子わんぱく教室」の児童三十二名、保護者二十六名らが参加し、農業用排水路であるこの川の約三百mの区間を六グループに分かれ、タモ網を使って生き物を捕獲しました。天候にも恵まれ、隣接して「高瀬しよ



◆南砺市高瀬地区「勸行寺川」での田んぼの生き物調べの様子



うぶ祭り」が開催される賑やかな雰囲気なかでの調査でした。水路の水位は深いところでも膝下程度で、しかも多少の水草が生えているとはいえ、三方がコンクリートであることから、一見したところあまり生き物の姿が見当たらない印象を受けました。それでも、子供たちは、何度も網で入念に繰り返し川

底を調査していました。その結果、オタマジャクシ、イモリ、ヤゴ、ザリガニ、ホタルの幼虫の餌になるカワナをはじめ、体長十七cm以上にもなるドジョウやヨシノボリなど予想以上に多くの生き物が生息していることが分かりました。そして、これらの生き物を手にした子供たちは、暑さにもめげず、教室の世話をしておられる金子良成先生の説明にも熱心に耳を傾けていました。最後に、射水市で水生生物研究所を主宰しておられる安田郁子先生から、「身近な水生生物とおして、みなさんのふるさとの水辺環境にこれからも、もっと関心を持って下さい。」との講話を聴いて解散しました。

(指導班 記)

新規採用職員 ふなもと 昌利



農村整備課 水利防災班
ふなもと 昌利

Q1 職場の第一印象は？	やさしい人が多い。
Q2 5か月経っての感想は？	楽しいです。
Q3 仕事で困ったことは？	学ぶべきことが沢山あること。
Q4 仕事でうれしかったことは？	色々な事を経験させてもらったこと。
Q5 最近ハマっていることは？	読書。
Q6 富山県で一番好きな場所は？	自宅。
Q7 好きな異性のタイプは？	明るい人。
Q8 尊敬している人は？	中松課長。
Q9 今悩んでいることは？	メンタルを強くしたいです。
Q10 今後の目標は？	中松課長をみならう。

イベント開催案内

とやま水土里フォーラム・農業用水小水力発電推進全国大会 10月16日(水)～17日(木)

16日：10:00～16:40 富山国際会議場
表彰式「とやま水土里賞」、受賞者事例報告
情勢報告「全国農業用水小水力発電推進協議会の取り組み」、基調講演「農業水利施設を活用した小水力発電の展開」、パネルディスカッション、ロビー展示
17日：8:40～12:30 8:30 県庁前集合(参加費千円)
県西部コース(庄川合口、示野、山田新田用水)
県東部コース(大家庄マイクロ、宮野用水、鋤川用水(仮))
申し込み：FAX 076-424-3332
メール sidou@tomidoren.jp
問合せ先：富山県農村整備課
電話番号：076-444-9624

とやま帰農塾2013「富山の食文化体験」

●砺波塾：10月18日(金)～20日(日)
これぞ日本の原風景！美しい散居村にうっとり百万本のコスモスとごっつおうで、大満足
●井波塾：10月25日(金)～27日(日)
全国屈指の木彫りの町である井波を中心に、滋味あふれる郷土料理を堪能します。
募集対象：田舎暮らしや、移住等に関心のある方
農林漁業体験をしてみたい方
募集締切：各塾の開催日の2週間前
参加費用：13,000円
2泊3日ですが、日帰り、1泊2日も可
参加費などはお問合せください。
申込方法：申込書に必要事項を記入し FAX 又はメールで
問合せ先：グリーンツーリズムとやま
電話番号：076-482-3161

守り、育み、伝えよう。
とやまの農業農村整備

富山県の農業農村整備を紹介するホームページを公開しています。
<http://www.nn-toyama.jp/>

砺波農林振興センターのホームページは下記のURLにてご覧いただけます。
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1633/index.html>

編集後記

びびびび！…内容が豊富でスペースがないべ ('j')

農村整備課 E田